

平成29年度教育事業

「交流の家通学合宿」～なかまとチャレンジ～（5年目）

1 事業概要

5泊6日の計画であったが、大雪のため入所日を遅らせ、2泊3日の事業実施となった。参加した小学生は、異なる学校・学年で構成された班で協力して生活を行った。3日間、交流の家とともに過ごす中で、仲間意識や生活習慣を身に付けていった。

2 事業の目的(ねらい)

家庭から離れた共同生活の中で、様々な生活体験活動を通して、子供たちの自主性や協調性、耐性等の「生きる力」の基盤となる豊かな人間性やコミュニケーション能力を高めるとともに、基本的生活習慣の定着や規範意識の向上を図る。

3 企画・運営のポイント

この通学合宿は、市内の同じ中学校に進学する予定の小学校2校に協力いただき、大洲青少年交流の家に宿泊しながら、学校へ通う事業である。昨年度から、4年生以上の児童を対象に応募している。長期間事業を行うことと毎日のふりかえりを行うことにより、日を追うごとに子どもたちは成長し、生活のリズムが身に付くと考える。失敗したことやできなかったことを次に活かされるように事業を計画した。

4 期待される効果

本事業では、長期間の生活することにより、望ましい生活習慣を身に付け、家庭でも引き続き「早寝、早起き、朝ご飯」の生活習慣や自分のことは自分ですること、家族の一員としてお手伝いをするなどの生活ができると考えられる。また、学校・学年を超えた仲間づくりができると考えられる。

5 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家

6 後援 大洲市教育委員会

7 期日 平成30年2月15日（木）～17日（土）

※計画では平成30年2月12日（月）～17日（土）

※保護者対象事前説明会2月5日（月）19:00に実施

8 場所 国立大洲青少年交流の家

9 参加人数 大洲市立大洲小学校16名（4年生2名・5年生5名・6年生9名）

大洲市立久米小学校 6名（4年生6名） 計22名

10 日程 (募集人数30名・応募32名)

【2月15日（木）：1日目】

17:00 19:00 19:30 21:00 21:30

受付	入所式 アイスレク	生活・学習 (学習・班活動・入浴)	ふりかえり 就寝準備	就寝
----	--------------	----------------------	---------------	----

【2月16日（金）：2日目】 ※仲間タイム：レクリエーション（キンボール）

6:00 6:45 7:30 17:00 18:00 20:30 21:30

起床	清掃 整理	登校準備 健康観察	つどい 朝食	バス送迎 学校	つどい 夕食	生活・学習・仲間タイム (学習・班活動・入浴)	ふりかえり 就寝準備	就寝
----	----------	--------------	-----------	------------	-----------	----------------------------	---------------	----

【2月17日（土）：3日目】

6:00 7:00 8:00 9:00 10:30 14:00 14:45

起床	清掃・整理 健康観察	つどい 朝食	清掃 荷物整理	クラフト 木ホルダー	野外炊飯 カレーライス	ふりかえり 退所式	解散
----	---------------	-----------	------------	---------------	----------------	--------------	----



1 1 活動内容

第1日目【2月15日（木）】

入所した子どもたちは、通学合宿の開催を待ちに待った様子で目を輝かせていた。入所式後、アイズブレイク、めあて作りを行った。本年度は予め担当者で用意した「5つの約束」を元に班のめあてを考えるようにし、自分自身のめあてについてもつながるようにした。学習後、入浴、就寝準備と少し時間が押し気味になったが、ボランティアがそれぞれの班に付くことによりスムーズに活動することができた。

第2日目【2月16日（金）】

6時に起床し、登校までにあまりゆとりがないが、子どもたち同士で時間を気にして声を掛け合いながら朝の準備をすることができていた。

下校後は、夕べの集い、夕食とゆとりをもって生活できた分、班での関わりを深めることができた。学習後はレクリエーションとして「キンボール」を行った。子どもたちの班にボランティアチームを加え、6チームで「キンボール」を楽しんだ。入浴後は、洗濯体験を行い、1日のふりかえりを行った。

第3日目【2月17日（土）】

ボランティアが子どもたちに指導し、所員がサポートする形でクラフト（木ホルダー）と野外炊飯（カレーライス）を行った。作り方や手順を教えるだけでなく、安全面で注意する点など具体的に示した。クラフトの作品は通学合宿の記念品にもなった。また、班で協力して作ったカレーライスは絶品であった。退所式前には、3日間のふりかえりをすると共にスライドショーを鑑賞した。退所式では、修了証が授与され、子どもたちの手からボランティアに感謝状を渡した。

1 2 参加者の声

参加者の事後アンケートの結果【小学生】

*満足：86.4% *やや満足：13.6% *やや不満：0.0% *不満：0.0%

- いつもお母さんたちは洗濯や料理など大変なことをしているのだなと思った。(10歳・女子)
- みんなと協力して活動することで、仲を深めることができた。また、新しい友達を作るきっかけにもなった。(11歳・女子)
- 何事にも挑戦することと、思ったことをはっきり言うことが大切だと思った。(12歳・女子)

1 3 成果と課題

【成果】

2日目に行ったキンボールは班の交流を促す活動として非常に有効であった。自然に声を掛け合ったり、作戦を立てたりするなど班の中でたくさんの関わりが見られた。3日目に行ったクラフトは5泊6日の計画には入れていなかったが、2泊3日となり、改めて計画したプログラムである。記念品にもなり、作成する際にも互いに協力する場もあり充実した内容であった。朝ご飯には、バランスのよい食事を心掛けさせた。普段、朝食をとらない児童もいたり、バランスが偏っていたりするのであったので、よい意識付けになっていた。また、炊事、洗濯等、自分の荷物や布団の整理整頓等を自分で行うことによって家族への感謝の気持ちをもつことができた児童もいた。

【課題】

本年度は、天候の影響を受けて2泊3日の短縮版となった分、生活が十分に身についたとは言いがたい。しかし、日常と違った環境での生活、友達との協同生活は子どもたちにとってよい刺激になり、よい意識付けにはなっていた。また、1日目様々な家庭環境を考え、受付時刻を長めに設定し、入所式を遅めにした。その分、就寝時間までが慌ただしくなってしまった。

(担当：企画指導専門職 清水大輔)

